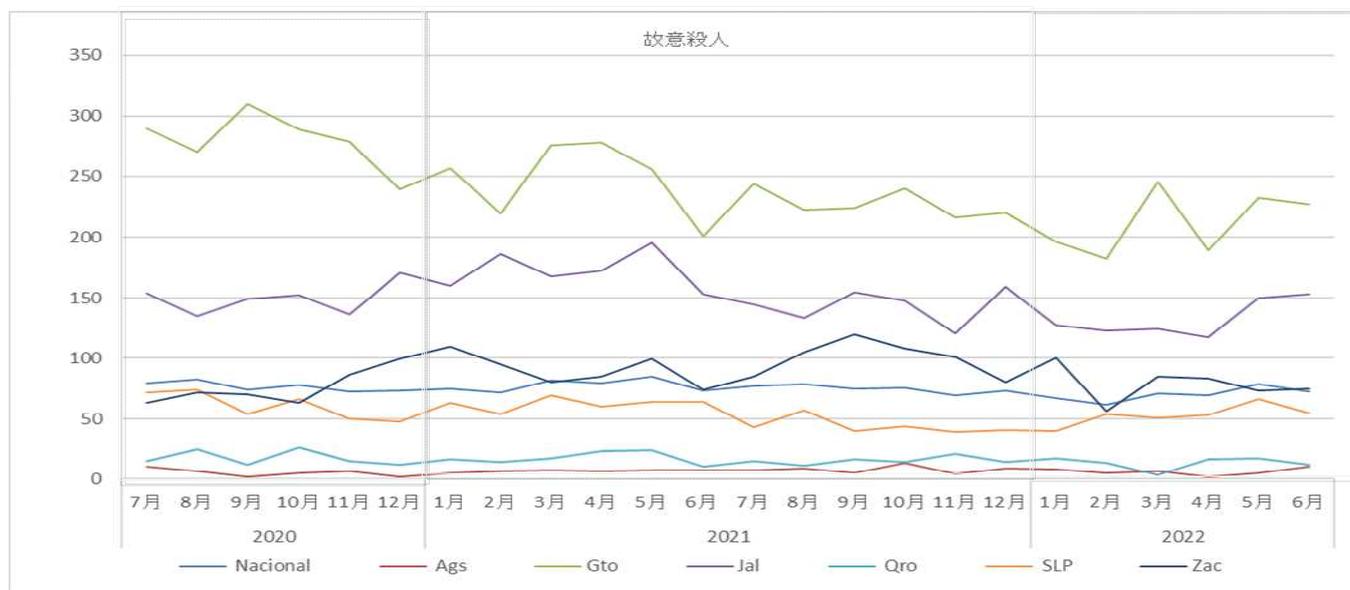
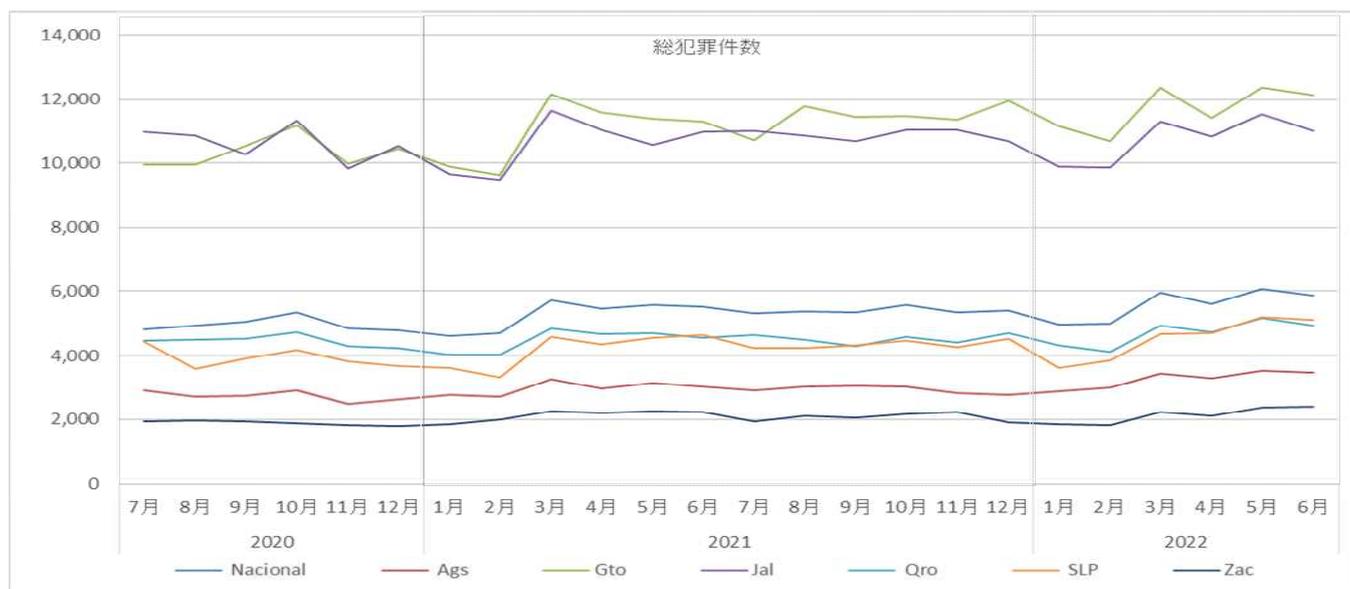
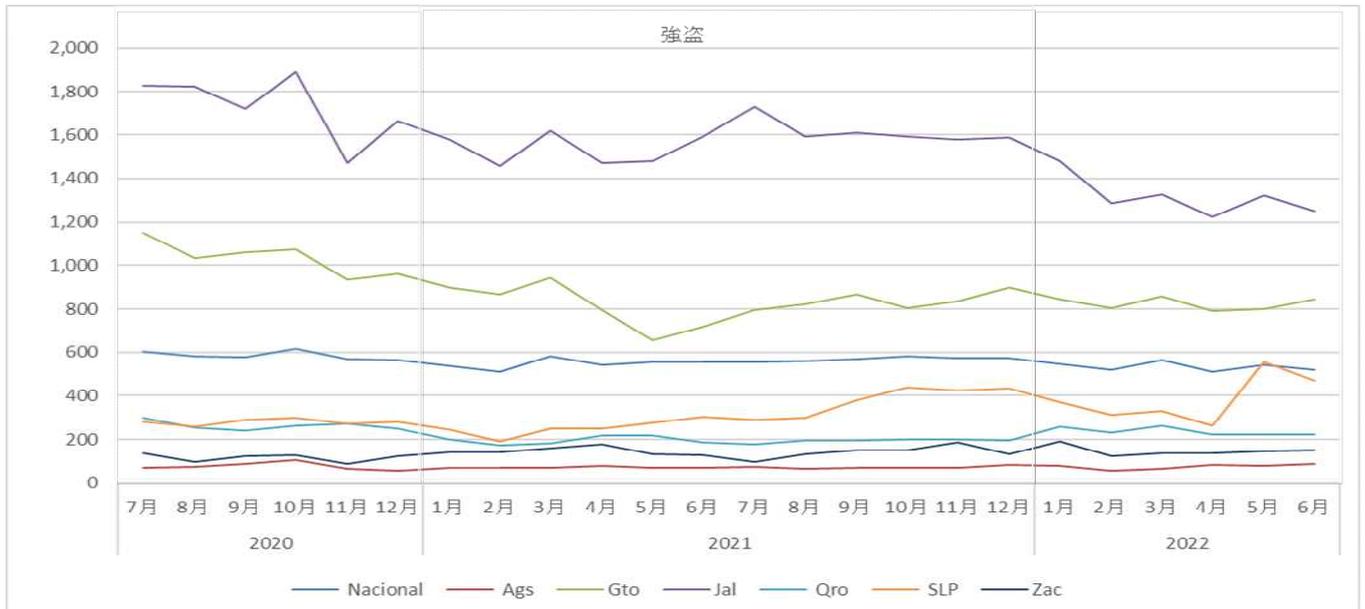


1 治安・社会情勢

メキシコ国内では複数のカルテル（麻薬組織）が存在しており、故意殺人の多くはカルテルによる抗争が大きく関係していると言われていています。特にグアナフアト州は、サンタ・ロサ・デ・リマ・カルテル（CSRL）とハリスコ新世代カルテル（CJNG）との抗争が数年間続いている影響もあり、全国的にも故意殺人が多く発生している州となっております。近年ではCSRLは弱体化し、抗争も減少していると言われておりますが、シナロア・カルテルも本格的にCJNGと抗争を始めたとの情報もあります。一般的には、カルテルの標的は麻薬関係者などの犯罪組織に関わる者と言われておりますが、カルテル同士の銃撃戦に一般市民が巻き込まれたり、誤認により殺害されるケースもあるため十分注意が必要です。

当館管轄の6州では、サカテカス州も激しい抗争地域となっており、凄惨な事件も多く報道されております。隣接しているアグアスカリエンテス州でも、サカテカス州の抗争に関連するような事件や逮捕者も出ており、州境には警察を配備するなど緊張状況となっております。国内でカルテルが活動していない州はなく、複数のカルテルが1つの州内で活動していることも多く、カルテル同士で協定を結び上手く棲み分けしている州（地域）は故意殺人が少ない傾向にありますが、グアナフアト州やサカテカス州のように、何かのきっかけで抗争が始まれば治安は一気に悪化する可能性もありますので、治安情報は常に新しい情報を入手するよう心掛けて下さい。





2 管轄地域内における一般犯罪の傾向

(1) グアナファト州

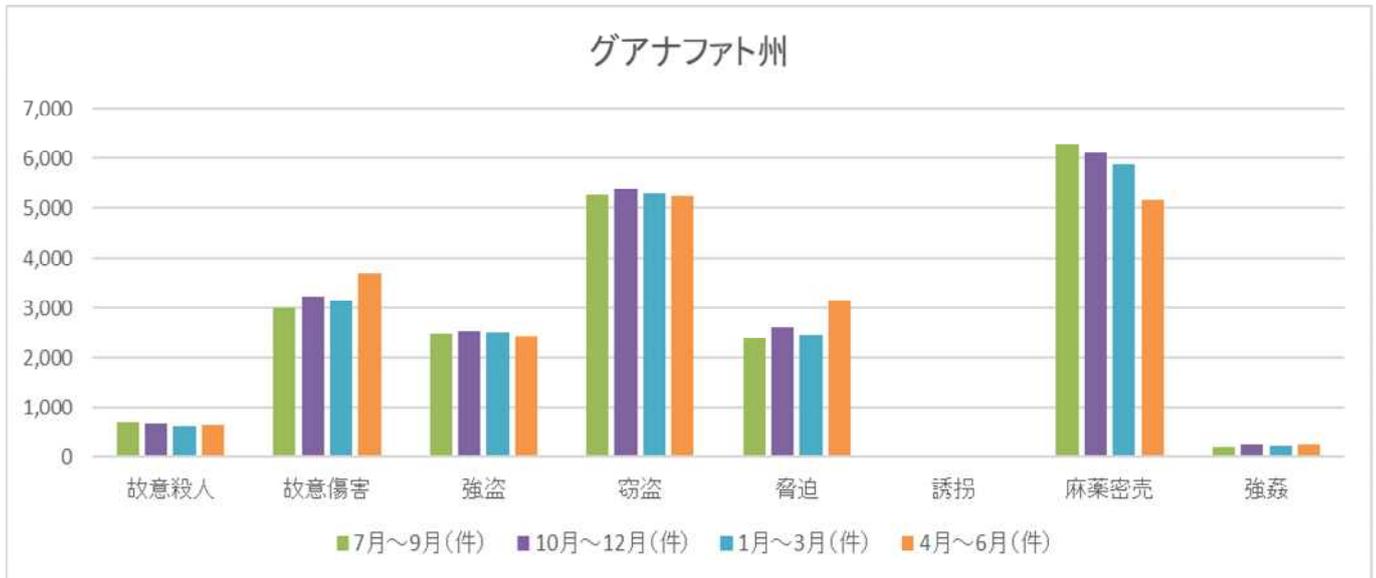
・人口約616万人 犯罪認知総数（4月～6月）35,894件

故意殺人の件数は緩やかに減少しておりましたが、今年に入り増加傾向となっております。特にレオン市やセラヤ市では、州内でも多く発生している都市ですが、サランカ市やイラプアト市も増加傾向となっておりますのでカルテルの抗争が激化していると予想されます。治安関係者や一般市民を巻き込んだ事件も発生しており、それに加えて故意傷害や強盗の件数も他州に比べて高いため注意が必要です。

・邦人被害（4月～6月）3件（強盗被害1件、車上狙い被害2件）

一般道をケレタロ州方面に向かって走行していたところ、犯人車両が横付けし、助手席にいた男（覆面）に拳銃を向けられたため停車。その後、犯人車両に一時的に監禁され、財布及び車両を強奪される被害が発生しております。都市間の移動は、一般道を利用せず高速道路を利用して下さい。ただし、高速道路上でも強盗被害が発生していることから、可能な限り早朝や深夜は避けて利用して下さい。車上狙いは邦人被害の多い犯罪ですが、貴重品（財布、パソコン、旅券など）は必ず持ち歩き、車内にモノを残さない事が一番の対策となります。トランクに保管する場合も保管しているところを犯人が見れば格好のターゲットになりますし、トランクから盗難された被害も発生しております。車上狙いは、しっかりと対策すれば被害に遭う確率を大きく下げることができますので、徹底して行って下さい。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
故意殺人	690	676	623	648
故意傷害	3,013	3,231	3,146	3,700
強盗	2,487	2,537	2,512	2,437
窃盗	5,268	5,390	5,283	5,236
脅迫	2,389	2,622	2,466	3,144
誘拐	3	2	3	2
麻薬密売	6,295	6,098	5,861	5,153
強姦	214	246	226	267



(2) アグアスカリエンテス州

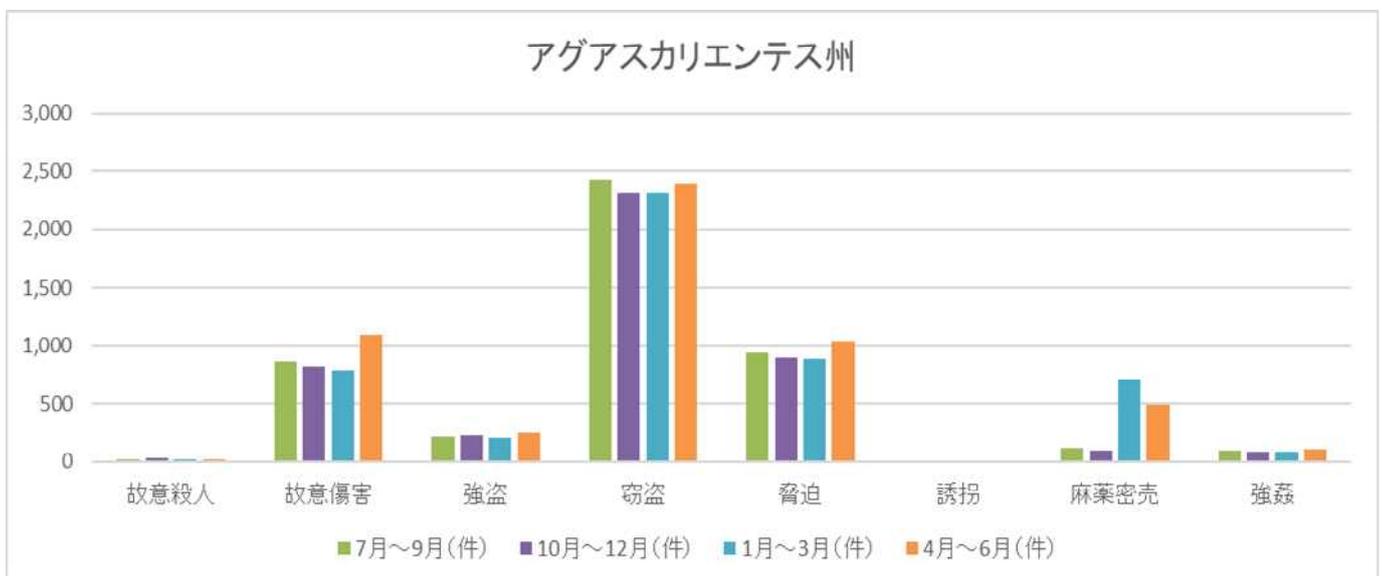
・人口約 1 4 2 万人 犯罪認知総数 (4月～6月) 1 0, 3 1 7 件

犯罪件数は少ない州ですが、犯罪発生率(人口の割合)では窃盗や強盗が多く発生している州です。犯罪の多くはアグアスカリエンテス市で発生しており、昨年は車上荒らしの邦人被害も発生しています。貴重品は車内に残さないなど犯罪に遭遇しないための対策をお願いします。

・邦人被害(4月～6月) 0 件

直近の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
故意殺人	21	26	19	17
故意傷害	868	823	787	1,090
強盗	213	223	203	254
窃盗	2,424	2,311	2,320	2,391
脅迫	938	893	887	1,036
誘拐	1	0	1	0
麻薬密売	120	90	714	490
強姦	96	83	85	104



(3) ハリスコ州

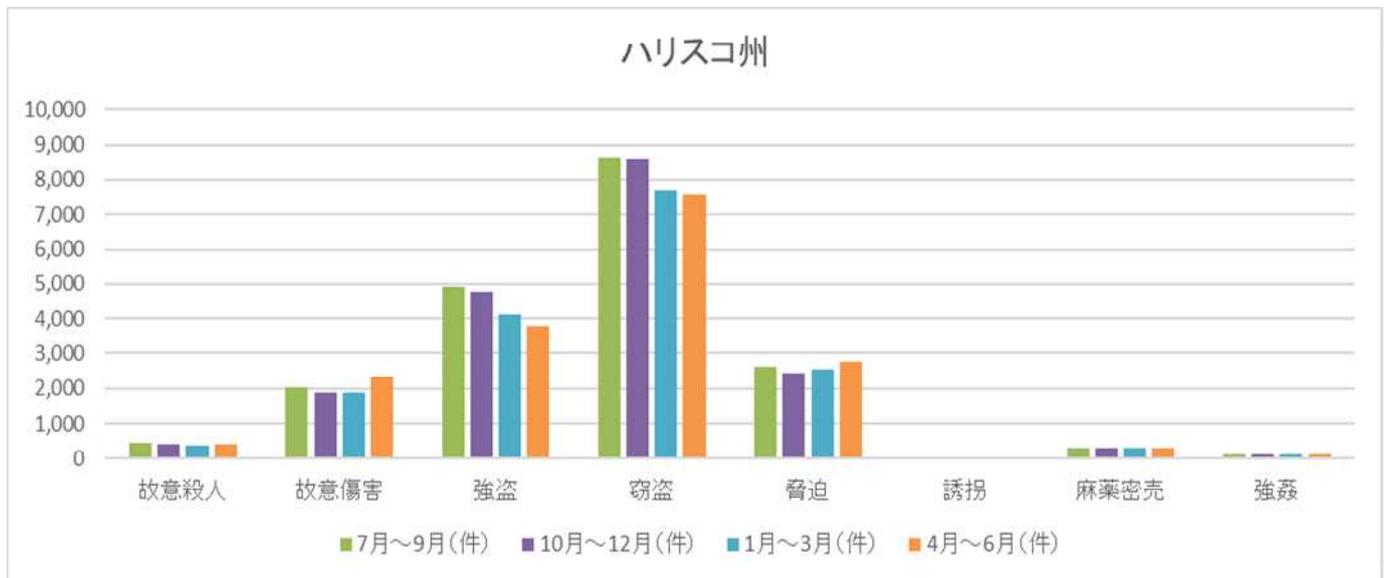
・人口約834万人 犯罪認知総数(4月～6月) 33,366件

強盗が非常に多く発生している州です。強盗は邦人被害件数も多い犯罪で、銃器を使用した犯行となっていることから、一步間違えれば身体へ危害を加えられる可能性も非常に高く注意が必要です。早朝や夕方、人通りの少ない道路や店舗の利用は極力避けるなどの対策が必要です。

・邦人被害(4月～6月) 1件(車上狙い被害)

コンビニエンスストアの駐車場でコーヒーを飲んで戻って来たところ、後部座席に置いていたカバンを盗難される被害が発生しております。被害者は車の見える位置にいましたが、施錠をしておらず死角から犯行に及んだものと思慮されます。短時間でも車から離れる場合は、必ず施錠し貴重品は持ち歩くよう徹底して下さい。特にグアダラハラ市周辺は強盗被害が多発しているエリアとなっております。またラゴス・デ・モレノ市も強盗が多い都市ですが、故意殺人も州内でも多く発生している都市ですのでご注意下さい。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
故意殺人	433	427	373	420
故意傷害	2,018	1,872	1,867	2,307
強盗	4,929	4,757	4,098	3,799
窃盗	8,606	8,590	7,702	7,574
脅迫	2,628	2,434	2,556	2,740
誘拐	3	4	6	7
麻薬密売	292	300	318	318
強姦	127	137	110	131



(4) ケレタロ州

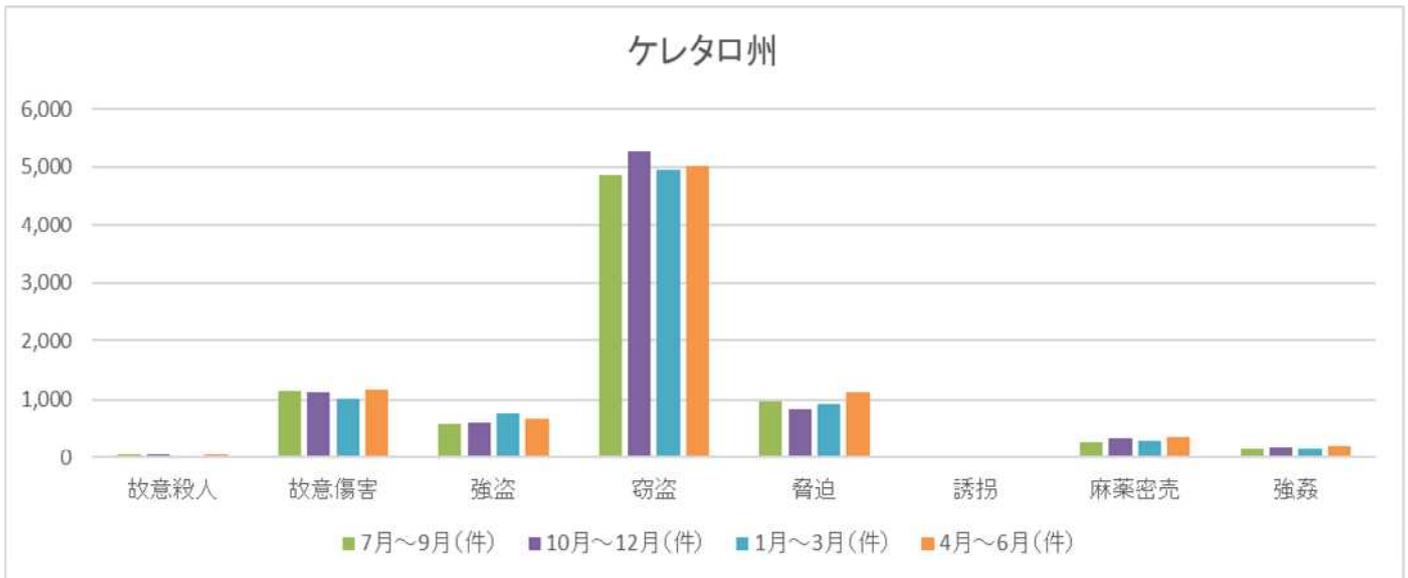
・人口約236万人 犯罪認知総数(4月～6月) 14,822件

犯罪の多くがケレタロ市で発生しており、強盗・窃盗が多く発生しています。隣接しているグアナファト州やメキシコ州、メキシコシティの治安も悪く、車両強盗も多く発生していますので注意が必要です。都市間の移動については、高速道路を利用して下さい。

・邦人被害(4月～6月) 0件

直近の犯罪被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
故意殺人	42	49	33	45
故意傷害	1,152	1,137	1,026	1,168
強盗	576	598	754	672
窃盗	4,866	5,293	4,951	5,010
脅迫	979	835	928	1,119
誘拐	6	3	4	3
麻薬密売	275	331	288	362
強姦	165	181	154	196



(5) サンルイスポトシ州

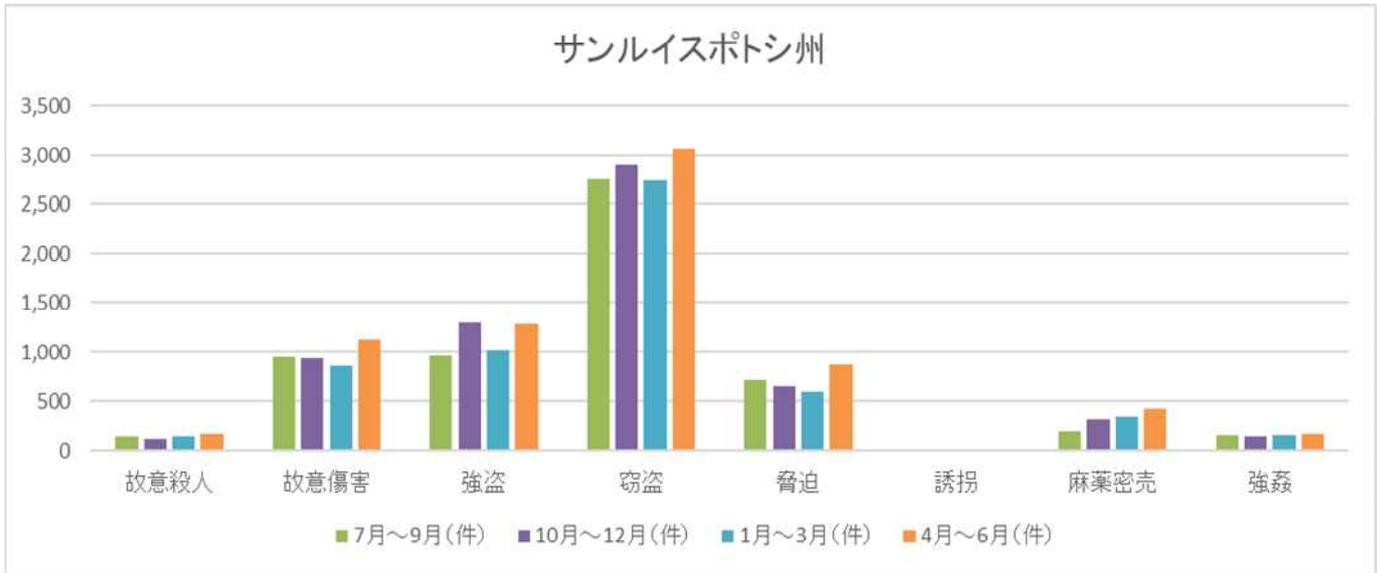
・人口約282万人 犯罪認知総数(4月～6月)15,007件

犯罪の多くはサンルイスポトシ市で発生しております。邦人被害が多い強盗や窃盗は早朝や夜間のガソリンスタンドやコンビニで多く発生しておりますので注意して下さい。

・邦人被害(4月～6月)0件

直近の犯罪被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
故意殺人	140	124	145	174
故意傷害	954	938	859	1,131
強盗	969	1,296	1,012	1,289
窃盗	2,759	2,906	2,745	3,067
脅迫	718	658	587	870
誘拐	3	2	6	1
麻薬密売	192	321	350	432
強姦	158	145	153	169



(6) サカテカス州

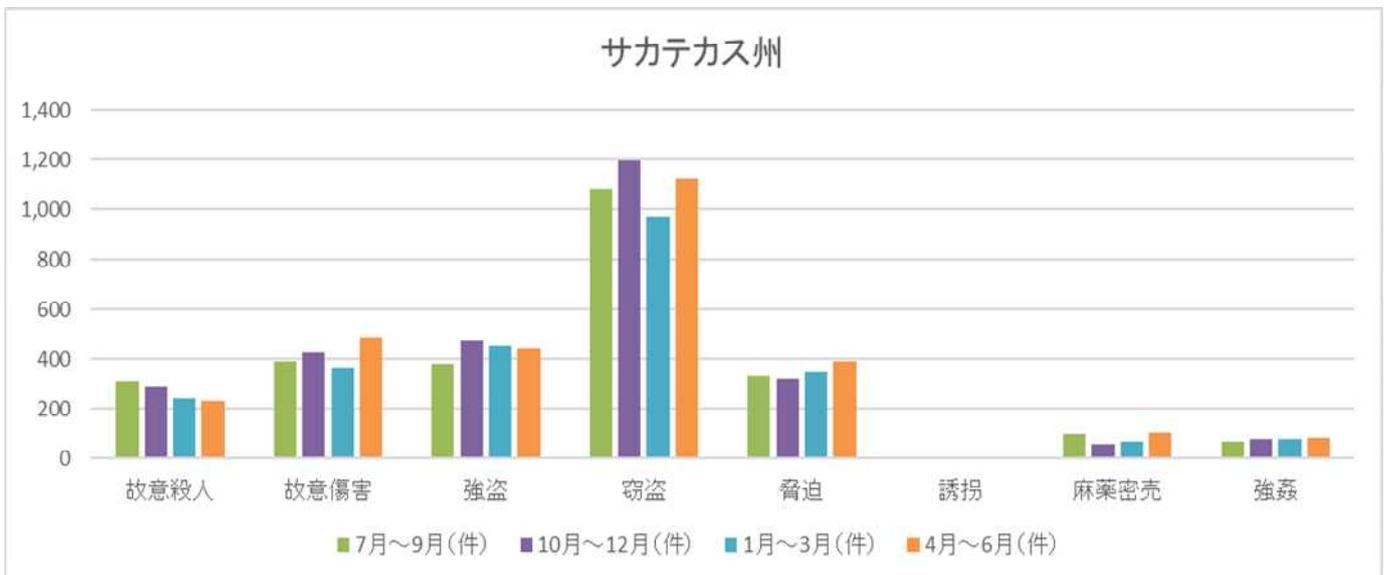
・人口約 1 6 2 万人 犯罪認知総数 (4月～6月) 6, 8 5 4 件

故意殺人の犯罪発生率 (人口の割合) は、他の州と比べても非常に高い数値となっています。殺人の多くは麻薬関係者と言われておりますが、サカテカス州では複数の麻薬カルテルが抗争を行っているため、十分注意が必要です。

・邦人被害 (4月～6月) 0 件

直近の犯罪被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
故意殺人	309	289	241	231
故意傷害	391	425	367	487
強盗	382	473	453	439
窃盗	1,085	1,198	970	1,122
脅迫	332	318	348	391
誘拐	6	5	4	2
麻薬密売	100	57	69	104
強姦	68	75	79	83



3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) 麻薬に関係する犯罪組織の抗争が激化しており、これら組織が関与した発砲事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生しています。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやディスコ等の出入りについて極力避けるとともに、違法薬物には一切かわらないことが大切です。また昼夜を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、発砲事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の変化に敏感になれるよう注意して下さい。
- (2) 銃器を利用した強盗も増加しているため、この様な事件に巻き込まれないためにも発出される領事メール等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域への通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げるのが重要です。また、銃器を利用した車両強盗事案では、メキシコ人被害者が抵抗したために撃たれる死傷事件が少なからず発生しています。万が一にも事件に遭遇した際は、抵抗せず犯人の指示に従って下さい。
- (3) コンビニエンスストアやレストランの駐車場における車上荒らしが引き続き発生しており、これら店の立地や利用する時間帯に注意するとともに、車両を離れる際は貴重品を放置しないよう注意が必要です。
- (4) バヒオ地区内では空き巣被害や強盗被害が目立ちます。万が一にも空き巣被害を確認した際には、まずは911（警察、消防、救急への緊急通報番号）通報し警察官同行のもと住居内の確認を行って下さい。犯人が住居内に残っていた場合、拳銃等を所持している可能性が非常に高いことから、住居区の警備員の同行があっても必ず警察官の到着を待って下さい。また、強盗被害に遭遇した場合は、絶対に抵抗することなく犯人の要求に従い、まずは自分自身の命を守ることを優先して下さい。

4 その他

事件事故に遭った際は必ず911番通報を行うよう心掛けて、犯人の逮捕を希望する場合は、検察局 (Ministerio Publico) に被害届を提出して下さい。被害届を提出しない場合は、発生した犯罪が事件化されないため、犯罪者が野放しとなります。

同時に管轄する大使館及び総領事館にも被害報告をしていただければ、日本人の皆様へ注意喚起することができるのと同時に、治安当局に対して事件の再発防止等を当館から訴えることができるためご協力をお願い致します。

5 日本人被害の犯罪発生状況

在メキシコ大使館ホームページの「安全情報」に邦人被害一覧を掲載しておりますので、ご参照下さい。

以上